

# 市政だより

No. 314-1970 (定価5円)  
毎月2回・1日, 15日発行  
昭和26年7月6日第三種郵便物認可  
発行所・会津若松市役所  
発行人・松本善夫  
編集・総務部市長公室広報係



磐梯山、猪苗代湖—大自然のもと、新しい年を迎え、明日にはばたく子どもたちが元気にかける (志田浜で撮影)

## 1月行事

- ▷5日 御用始め ▷6日 午前9時～12時 昭和45年消防出初式 市民会館
- ▷8日 市内各小中学校第三学期始業式 (湊地区を除く) ▷9日 午後2時 小田山スキー場開き ▷10日 十日市 神明通り、旧図書館跡 ▷13日 午前10時～午後3時 中央生活学校市婦連代表者会議 公民館 ▷14日～16日 午前9時 子供会書初展 ▷15日 午前10時～11時 成人式 市民会館 ▷17日 午後2時 子供会書初展賞状授与式 公民館

## 新年おめでとうございます

市民のみなさまことしも

よろしく願い申し上げます

昭和45年元旦

会津若松市長 高瀬 喜左衛門

○ (とじて保存しましょう) ○

# 豊かな会津を築くには

新春座談会

## 11市町村長大いに語る

豊かな会津の建設—これは会津人のすべてが願うことです。今や、地域開発は市町村という小さな垣根をこえて、全会津が一丸となって事に当る時代なのだといえます。そのような意味で、今回行われた近隣十一市町村長の座談会は、多くの示唆を与えてくれる筈です。高度経済成長にとり残されないうちにも、地域住民の一人一人が真の郷土愛にもえた一致団結の姿勢が要求されるのです。

なお、座談会はこの他にも数多くの問題がございましたが、紙面の都合上割愛しました。

司会 経済の高度成長を反映して、国民生活の水準は向上し、全国的に生活様式の都市化がすすんでいます。この普及に伴って、市町村の区域をこえた広域的な日常生活圏が全国的に形成されつつあります。これらの現象が市町村行政の分野においては、住民が生活環境施設、文化施設などの都市的水準を要求する形態で現われてきています。しかし、これらの施設は、市町村の単独では不可能な場合が多く、現にし尿やごみなど

どの処理施設については、市町村が共同で設置し、共同で利用している例が大へん多くみられます。

きょうは近隣の十一市町村長さん方に集まっていただき、豊かな会津建設のためにいかにとりくんだらよいか...、について自由発的なご意見をおきかせいただきたいと思っております。

そこでまず、工場誘致の問題について、若年労働力の流出や中高年令層の余剰労働力と関連させながら、話をすすめていきたいと思っております。

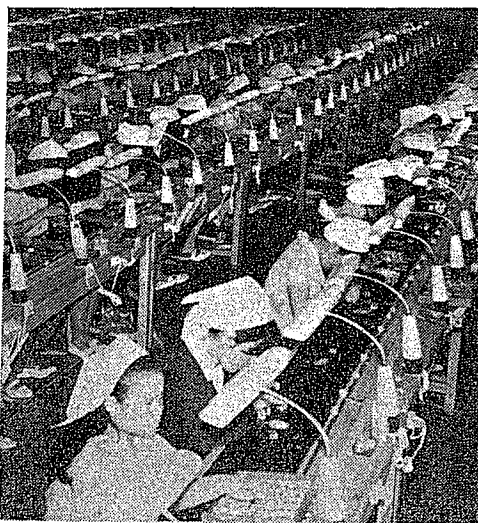
### 会津の実情に合った工場誘致致を

市長 労働力供給の面からみますと、今迄の工場は、若年の女子労働力だけが求められていますが、これでは労働力が枯渇し、労働力の供給源を米沢や津川方面まで広げて考えなければなりません。

つきに、最近ふえている

兼業農家の問題ですが、会津としては、中高年令層の男子労働力を吸収することのできる工場でないか、農村部の人たちに役にたたいと思っております。どんな工場でもいいというわけにはいきませんね。

河東村長 農家経営とマッ



都市部には基幹工場、農村部には下請工場で余剰労働力を吸収

チした企業を誘致しないと農業経営はゆきづまっていきませんね。

湯川村長 うちの方は、大部分平担地で、その九割以上が水田で、年間約九億円の農業収入があります。給与所得は五割強を若松市から得ています。このところ基盤整備が進み、機械の大形化で労働時間が短縮されてきていますので、今後、兼業農家がふえることが予想されます。

若松は、いわば会津の若松であり、中心都市ですから大きな期待がかけられても仕方ないですね。

塩川町長 会津はひとつなんですから、若松市は自分の市ばかりでなく、他の町村もみるぐらいのゆとりが欲しいですね。

新鶴村長 新鶴の場合は、出稼ぎは現在約三百人以上おりますが、まだ労働力はあるようです。道路を舗装



永島村長

し、交通機関を充実させ、若松市と時間的に短縮させるとこの労働力は若松の方へ流れていくと思っております。

北会津村長 いま、うちの村の水田は、機械力の導入によって、一反歩五、六人



田中村長

で、できるようなったわけですが問題は、これによって余った労働力をどこにむけるかということですね。公害のない工場を誘致し、若い人達が働きたいとき、自由に働ける工場があると問題ないのですがね。

湯川村長 湯川では若松市の工場に通動している人と

通学生徒を合せると、人口の約一割が昼間、会津若松市に居ることになり、将来はさらにふえるでしょう。

市長 そうですね。若松の場合は確かに昼間人口は伸びていますね。ただ税金の対象にならないのが残念です。

坂下町長 小さい農家は工場で働きたいが、適当な工場がないので、水田に専念している例がみられます。農業構造改善事業で、水田はふえたが、共同化や機械力の導入で労働力はあまるというふうです。

高田町長 ただ工場を誘致すればいいということには問題がありますね。

司会 そうですね。労働力の面で農業と調和のとれる工場の誘致ということですね。

河東村長 農家では、パートタイムでも働きたいという気持をみんなもっているようです。

本郷町長 現在の工場ではパートタイムは仲々無理でしょうね。

高田町長 受け入れ側でも、時間や仕事の面でゆとりのあるようなものにしなさいといけませんね。

坂下町長 方部に拠点をおいた工場を誘致したらどうでしょうか。

司会 会津の工場誘致については、当面既存工場（アルミ、亜鉛の精錬など）の製品を二次加工する次の工程を受持つ工場の必要性和

電子工業の場合、部品メーカーを農村部に、組立メーカーは都市部にという形態それに、若い男子の職場の確保ですね。兼業農家の余剰労働力をいかに吸収するかという点についてはどうでしょうか。

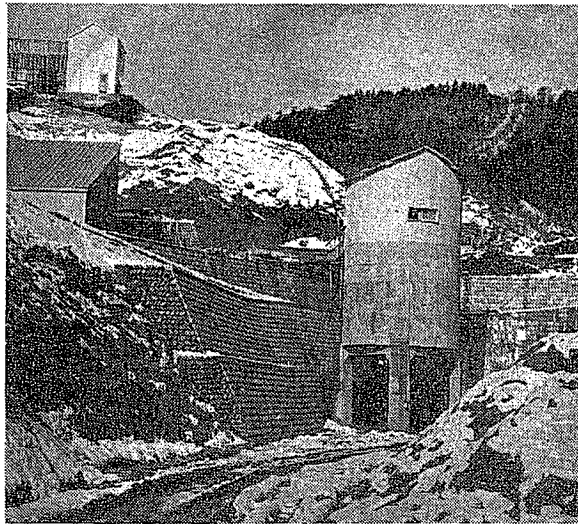
市長 そうした余剰労働力を吸収するという意味では第二次産業としての生産性は低くとも、都市の専従工場とは異なりますが、農業と比べては生産性の高い中間的な工場が必要となりますね。

司会 要は会津若松市に基幹工場をほとんど誘致し、分工場或いは下請工場を町村部に建て、一丸となって工業化への道をとるべきでしょうかね。



古川室長

## 地下資源の開発 有望な会津の黒鉱



黒鉱は会津の山間部開発に、大きな期待がもたれている

司会 会津の工業化の問題には、黒鉱開発による非鉄金属を原材料とする工業開発も、ひとつの方向として考えられますが、この点、磐梯町長いかがですか。

磐梯町長 黒鉱は、非常に有望であり、会津のみならず買っています。西会津、奥会津から産出する黒鉱のうちの方にまわしてもらえないのが大きな問題で、これでは投資効果があがらんとはいわれても仕方ないですね。

司会 黒鉱は、奥会津に

掘り出される黒鉱は、私の町に県内唯一の黒鉱の精錬工場があるにもかかわらずすべて県外に出ていってしまいます。ここでは原鉱の九十九パーセントをカナダか

ら買っています。西会津、奥会津から産出する黒鉱のうちの方にまわしてもらえないのが大きな問題で、これでは投資効果があがらんとはいわれても仕方ないですね。

司会 黒鉱は、奥会津に

河東町長 その話は精錬工場の労組の方から私も聞いています。



安藤村長

磐梯町長 黒鉱は、銅と鉛と亜鉛ですから、今までは分離がとてむずかしかった。最近、技術が進んで鉱石を容易に分離できるようになってきましたので、会津の工業開発には非常に有望です。

司会 地元で精錬しますと銅、鉛、亜鉛の地金が生産されます。それに、現在、生産されているアルミ地金と合せますと、非鉄金属の目ぼしいものは、すべて会津で生産され、この二次、三次加工分野は、会津の工業化に大へん有利な材料といえます。

桑原町長 各町村とも探鉱しなくても鉱脈があるといわれています。例え、猪苗代、川桁地区です。各町村の分布状態も県でつくつてあるでしょう。私の町も二カ所ばかり、かかりそうなのですが

司会 西会津地域が昭和四

塩川町長 確かに円周道路の必要性が高まっています。四十九号線から磐梯、河東、塩川を経て、北塩原、喜多方さらに高田の赤留を通していくと、大循環線になりますね。

市長 また会津の場合は、上から下への交通も考えなければなりません。

道路については、建設省も、自治省も、ほぼ十年間で、改良舗装率を四十五パーセントにしたい考えをもっているようですね。今は平均すると十パーセント位です。

## 道路—どうしても必要な環状線

塩川町長 一九七〇年代は会津開発の時代といっています。国道への昇格を訴えているんですが……。

新鶴村長 うちの場合は、幹線の県道が二本走っていますが、これが全く舗装されていません。それでも坂下・高田街道は期成同盟会を結成して県などに陳情して着々すすんでいます。ところが会津若松・二岐線は

十三年度から精密調査地域に指定され、その結果は、有望地域として注目されております。そこで、昭和四十五年度には、引続き西会津地域の調査を行なうと

もに、東会津地域も、新たに調査対象とするよう通産省に要望中です。これが指定になりますと、会津地域全般が調査されることになり

塩川町長 塩川・猪苗代線は、大雪が降ると、大へんです。国道への昇格を訴えているんですが……。

新鶴村長 うちの場合は、幹線の県道が二本走っていますが、これが全く舗装されていません。それでも坂下・高田街道は期成同盟会を結成して県などに陳情して着々すすんでいます。ところが会津若松・二岐線は

- 座談会出席者
- 塩川町長 佐藤金次郎
  - 北会津村長 永島 幸一
  - 磐梯町長 桑原 啓
  - 本郷町長 金上留之進
  - 河東村長 安藤 善市
  - 会津高田町長坂内 巖
  - 新鶴村長 永峰 一男
  - 湯川村長 田中新十郎
  - 会津坂下町長二瓶 喜元
  - 猪苗代町助役坂 彰
  - 会津若松市長 高瀬喜左衛門
  - 司会 高瀬喜左衛門
  - 会津若松地方 古川秀治郎
  - 行政連絡室長 (順不同)

遅々としてすすまない。村民もつよくこれを願っています。

北会津村長 若松市と北会津村とを結ぶ橋がほしいですね。本郷と若松の漆器団地に通じる橋と、真渡から若松に入る橋ができれば北会津村の野菜や果物は大へん出荷しやすくなると思います。

湯川村長 それより先に村田橋にでるところが貫ければいいですね。

坂下町長 笈川街道から駅まではよくできていますね。ここから神指の高瀬まで通じる道さえよくなればね。

### 点から面へ一貫した

## 観光行政の推進

司会 道路の話ができましたので、これと密接な関係にある観光にすすみたいと思います。

市長 猪苗代でやっている冬期間の民宿、あれは夏休みの間、勉強するところの使用するという点はどうですか。

猪苗代町助役 六十パーセ



坂 助 役

湯川村長 会津の観光は若松と猪苗代でほとんど占めていますね。観光は点から



二瓶町長

司会 道路問題について、それぞれの立場から現状と問題点がだされましたが、最近建設省が地方生活圏という構想を示しています。これは、中心都市と関連町村の中心部を放射線状に道路を整備し、次に関連町村の中心部をさらに横で結んでいくものです。今後の道路網のあり方として、大へん期待がもたれるものだろうと思います。

本郷町長 観光はやはり、一貫した構想をもち、南会津郡から大川ラインを含みます。



金上町長

若松、磐梯山までを囲んだ観光計画をもたなければならぬと思います。



一貫した構想のもと、全会津の観光資源の開発が望まれる

面へ移りつつあるといわれています。私の方の勝常寺も入れてもらいたいですね。ただ、現状では、道路が整備されていないので、他所から来ると迷ってしまう。

とえば、新潟から東山まで観光地が少ない。途中に只見は只見として、観光地に発展する方が、東山・声ノ牧の発展にも好都合ではないかと思えます。

高田町長 只見でお湯がでるか、でないか苦労しているわけですが、町民にとってはなかなか大へんでしょうけれど、会津全体からいうと、やはりやっていた方がいい苦勞の一つだろうと思えます。



坂内町長

磐梯町長 磐梯山は、猪苗

代町と私の方と北塩原村の三つで管理している格好ですが、日光と磐梯山を結ぶ路線が欲しい。磐梯山というのは、もう少し若松市が手を伸ばしてもらえば、大へん楽ではないかと思う点が多くあるんですがね。

市長 今後、若松の中で観光を発展させるためには、自然のよさを保存した形の観光地域にもついでに、かなくてはならないと思っています。背あぶり山の道路を考えた場合も、周辺との関係にはやっつけていけない道路ですから、決して無関心ではありません。

### 大学誘致で

## 頭脳流出を防ぐ

司会 会津地方は、学園都市にふさわしい環境をもっていると思えますし、四年制大学誘致のご希望もあるように聞いておりますが、湯川村長 私の村の高校進学率は九十パーセント以上でこの半分以上が大学進学組で出て行きます。

このままだと農村に人材が残らなくなる。地元で大学があれば、残る者も、もっと多くなると思えます。

市長 大学誘致問題も、ある意味では、第三次産業的な角度で検討していいので

はなにか。地元から外に出ることを押さえる意味からも大切だし、県の長期展望でも、県北地区が県庁や大学中心ということから、内陸型工業地の中心地ということに色彩が変ってきているので、何とあそこを文教の施設を固定して考えるというのではない。例えばモデル大学などを考えるならば当然会津地区ではないかと思えます。

湯川村長 頭脳の流出というのですか、若くすぐれた人材がどんどん会津からで

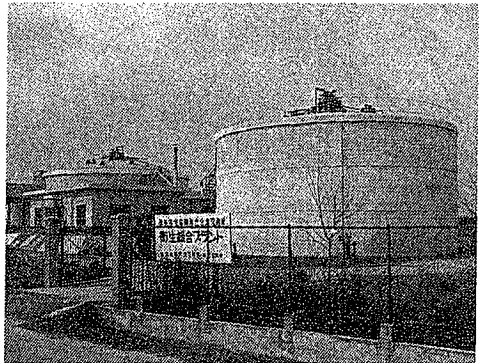


ていつてしまうことは大へん残念なことです。すぐれた人材を地元にとどめるような文教などの施設や条件づくりを考えなければなりませんね。

市長 工場誘致の場合、来たがらない理由のひとつとして、従業員の子弟の教育に困るからといういい方をしているのが相当あります。河東村長 村の工場の方の話ですと、中学校までは河東の方が東京よりいい。しかし、高校、大学となると

## ひろがる生活圏 広域行政で相互利益

司会 さきほども話ができましたが、住民の日常生活圏の拡大に伴って、市町村も広域行政をとらざるを得ない状況にあることは今更いふまでもありません。最近、自治省は広域市町村圏建設省では地方生活圏という構想を示しておりますがこれらに対する皆さんのご意見、また中核都市となる会津若松市へのご注文などをお聴きしたいと思います。磐梯町長 いま政府ですすめている広域市町村圏に、本県ではすでに白河地区が指定をうけていますが、聞くところによると、次は喜多方ではないかといわれていますが……。



8市町村で設置した組合衛生プラント、これも広域行政の一つのあらわれであらう

司会 今、し尿処理などが一部事務組合でやっておりますが、中心となる若松市に対して、今後生活環境の整備あるいは

東京の方がよいということになっています。坂下町長 教育環境としては、中通りより会津がよいことはいうまでもないことです。しかも、磐梯山を中心とした静かで美しい風致にめぐまれていて、白虎隊という伝統的な精神面もうけついでいる。ここで会津の人間を養成するばかりでなく、日本人の魂を入れかえるという場所としてももっとも適しているのではないかと思えます。

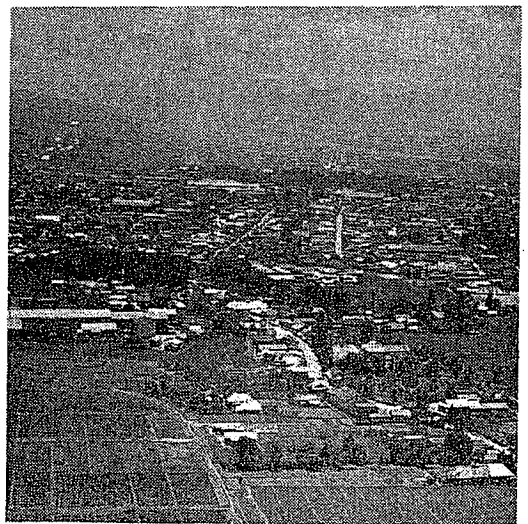
全国で百カ所、本県では二カ所か三カ所指定したいようです。また建設省の地方生活圏は、来年の六月までに全部決めてしまう管です



高瀬市長

地方生活圏の方は、全町村いずれかの生活圏に属するようになりますが、広域市町村圏の場合は、まとまったところだけを指定することになり、立地条件が圏を構成しえない町村、指定にならない場合が出てくることとなります。

市長 時期的には確かに広域的な問題を考えるときに来ていると思いますが、ただ単に若松市の側からだけ



豊かな会津の建設へ、今こそ全会津が一丸となつてすすまなければならない

文教関係施設でどんな施設を希望しているのか、皆さんからお話をうかがいたいと思います。



永峰村長

新鶴村長 火葬場については、うちの方でも痛切に感

じています。いまは若松に頼んでいます。一部事務組合式のものをやる時に来ているという感じですが、

北会津村長 その通りです。ね。消防も電子計算センターも、し尿処理も、塵芥処理も、みんな一部事務組合形式でもっていったらいいように思いますが……。



佐藤町長

塩川町長 社会教育はもちろんのこと、災害や土木の

技術者をどのようにして共同でかかえこむか、企画開

つたらどうだろうか。市長 そうですね。防災をはじめ社会教育関係の仕事は、みんなやった方が安

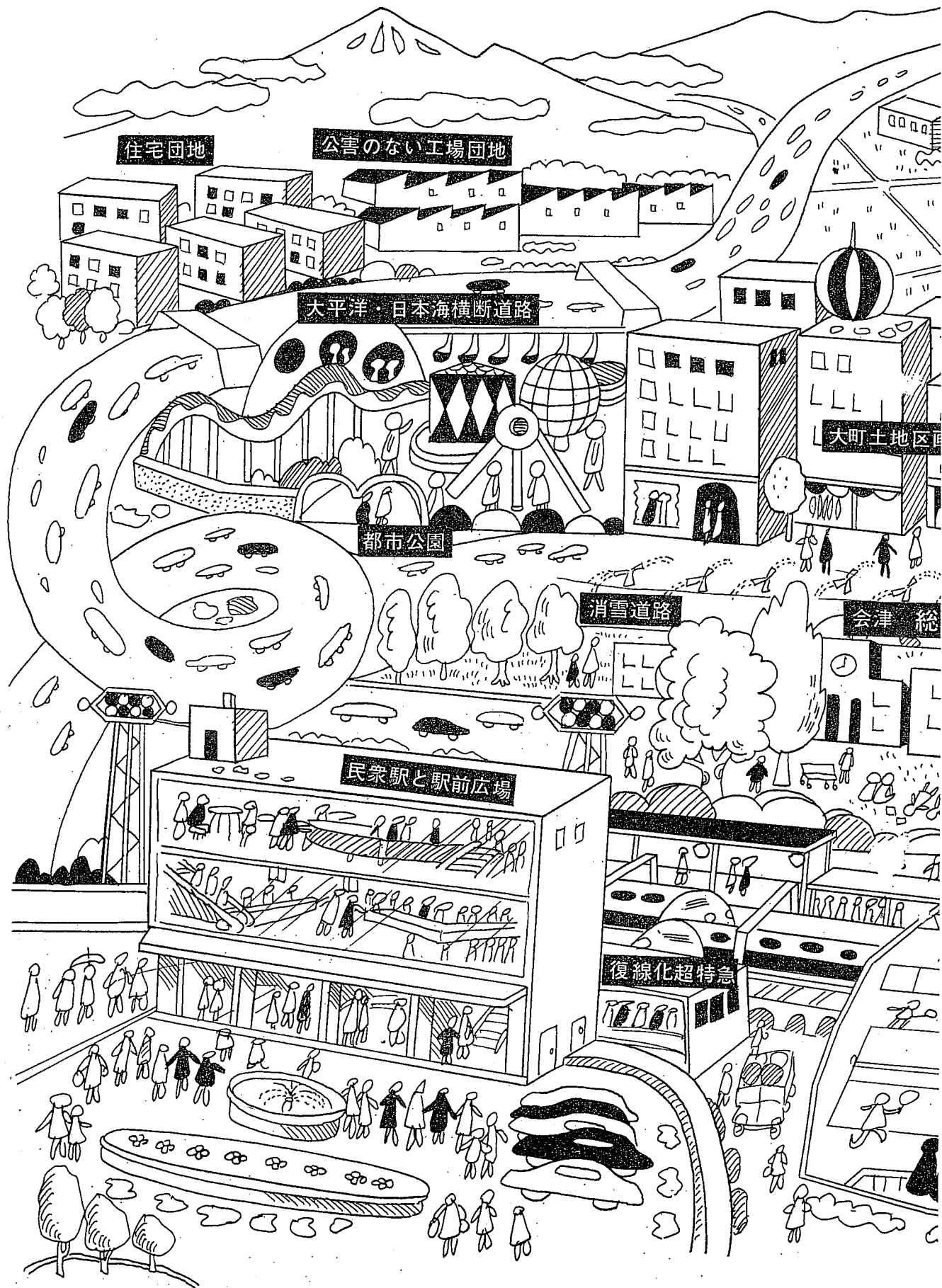
後進地の汚名を返上し、住みよく、豊かな会津建設には、会津の総合開発を強く推しすすめなければならぬ。ことに、道路、観光、産業など何一つとって、一市町村の単独事業では手も足もでないというのが現実です。

会津はひとつということを実現できたようです。そういう意味で、今日の座談会が、相互の現実的立場を確かめあい、今後の会津発展の指標をはっきりさせることができたことは大へん大きな収穫でした。どうもありがとうございます。

# 近い将来 会津はこうなる



絵 板橋英三



住宅団地

公害のない工場団地

大平洋・日本海横断道路

都市公園

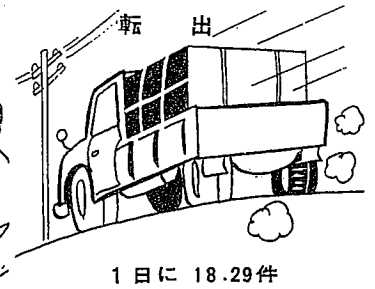
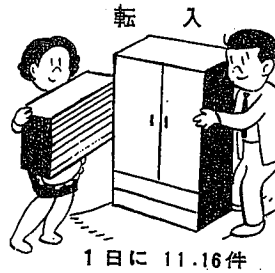
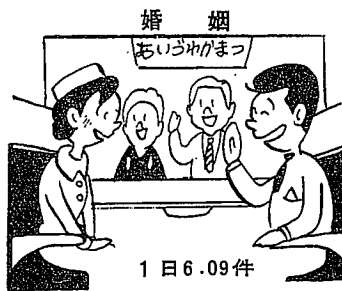
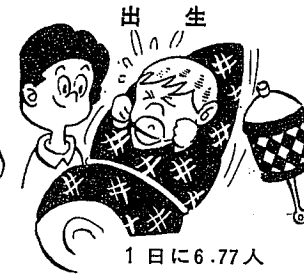
消雪道路

会津 総

民家駅と駅前広場

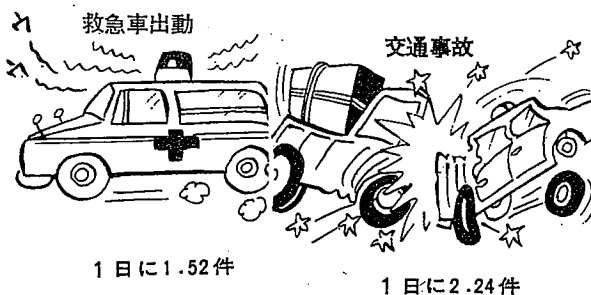
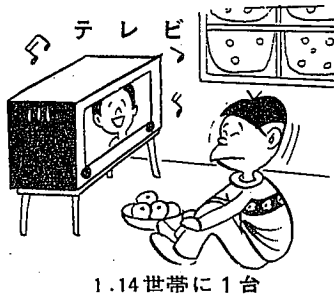
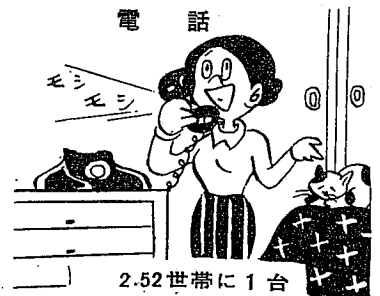
復線化超特急

大町土地区



統計で見る  
市民生活

画行仁町 小林節江





# ぜひほしい屋内体育館

鈴木伸喜

一九七〇年、内外に問題の多いこの年、会津若松市においては市制七十一周年期待と希望とに満ち溢れている。学生時代からスポーツ好きな私は、社会人になってもそれを続け、そのたび、何度体育館の借用に奔走した事か……。母校、それが駄目な場合は別な学校など、そのたびに高校時代に気付かなかった他県のスポーツ施設が羨しく、またなつかしく思えてなりません。高校時代、選手として

何度か他県へ遠征した経験がありますが、立派な市営体育館などが完備しており、当市の設備の貧困さ、無関



鈴木君

心に彼彼を考えさせられます。何も特定の人のみが利用する体育館を云々するものではありません。老若男女、市民の誰れもが自分

に合ったスポーツを、体力の増強を、また健全な娯楽スポーツなどに利用できる体育館が当市にあっても不思議でなく、いやそれを願う成人式を迎えるにあたり、体育館の建立を切望します

(宮崎電線工業KJ勤務)

## 農業後継者の育成に力を

岩淵陽一

会津地方は、昔から、できない作物はないとまでいわれ、作物の生育条件は最高です。この最適の田畑が年々潰れ、農村の若い力が都市に流出し、農業がすたれつつある事は事実です。しかし、なぜ農村後継者までサラリーマンになるのですし

よか。結局、今までの農業では暮して行けないと考



岩淵君

え、現金収入、労働時間、作業スタイルなどどれを取っても農業を続けるより率のよい、楽な道を若者は選ぶのではないのでしょうか。

新成人者の声

# 私は市政こう望む

しかし、このまま会津の農業がすたれるという事は、会津がすたれるにひとしいと思えます。後継者育成資金を増し、近代的な農業経

営の指導を行ない農村後継者育成にさらに力を加え、夢のある、意欲的に取り組

める会津農業を築く事は、会津発展の基盤と信じます (門田町南青木 農業)

## 四年制大学の設置

蒲生 崇



蒲生君

私は今年成人式を迎え、人生における一転換期に直面しているわけだが、大人の自覚という何か大きな使命が与えられたような気がする。私は今、会津地方唯一の大学、会津短期大学の

喜ばしく、誇りをもってよいことだと思っている。しかし、二年という期間は学問の場、あるいは人間形成の場にしても短かすぎる。もちろん短大なりの特色はあるだろうが、もし四年制大学が設けられれば、学園都市という新しい会津若松市が誕生して、今、心配されている若年層の流出も幾分なりとも防げるであろうと思われる。成人式を迎えるにあたって、市に四年制大学の設置を切に望みたい (会津短期大学学生)

## 貴重な意見を

### 市政に反映

市長 高瀬喜左衛門

ご成人おめでとう

地域の発展はその構成員である一人一人の人間がいかに住み良い街を創るかというのを、真剣に考えることにあると思えます。

ここに寄せられた意見は成人となった自覚をもつて考えられた、建設的なものでありまして直ちに実現に努力しなければ

ならぬものと、的確な未来像を描き、長期計画を樹て、その中で実現すべきものとの二つがあると思えます。

若いバイタリティ溢れる意見も充分とり入れ、市政の発展に力を尽してまいりたいと思じます。

可能性にみちた皆さんの活発な意見を期待するのと同時に今後のご活躍を祈ります。

## 図書館の 休日開館

田中憲子

近日移転した図書館に、私はまだ一度も足を踏み入れたことがありません。「読書」となると、多少勇気が必要だと思えます。が普通六時で閉館となると行きよ



田中さん

うもないので、私たち職を持つ者にすれば、日曜、祭りが開館されていると、大

## 噴水と花のある公園

関井幹子



関井さん

「成人だよ」と他人からいわれても、正直のところ私にはその実感がありません。しかし、一人前の社会人である、政治にも参加できる成人となるのですから、これからは将来への理想をい

だき、現実を直視しながら、一步一步勉強と努力を重ね

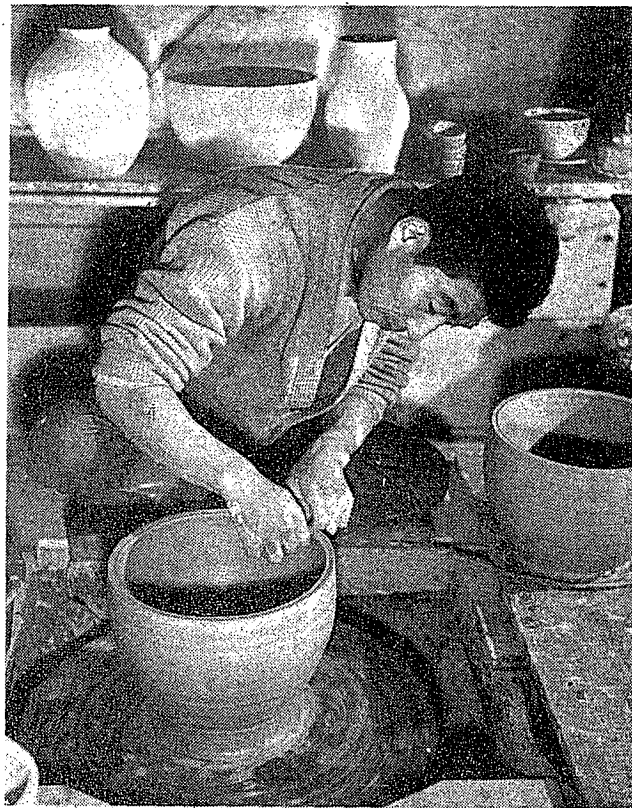
たいと思えます。

市政に何を望むかということですが、私は中心街に公園がほしいと思えます。四季の花が咲き、恋人同志が楽しく語りあえる公園——たとえば東京の日比谷公園のようなものがあれば最高です。そして子供達の遊び場所も少ないですから児童公園も是非必要だと思えます。自分の故郷である会津若松がこのような街であれば申し分ありません (ライオン堂本店勤務)

# 伝統に生きる

会津の伝統産業は、今もなお生きつづけている。数多いそれらの中には、時代の移り変りにつれ、存続がややぶまれているものもあり、たくましく時代をのりこえます。ますます、発展が期待されるものもある。

いずれにせよ、祖先の生活の知恵として受け継がれてきた伝統産業を後世に残すことは単なる郷愁だけではなさそうだ。そこには、人間生活の本質にふれる何かを求め、その気持が動いているといえるだろう。



△会津本郷焼き——宗像焼きの七代目宗像亮一さん（三十六歳）は、土物専門のかまもとである。昔、盛んに使われた水がめや、みそがめ、にしん鉢などの土物の美しさを再認識し、民芸品として現代によみがえらせた。

△「会津名産絵ローソクをいつまでも後世に残したい……」と一心に絵筆を動かす市内蚕養町高畑利三郎さん（七十四歳）。一本一本緑、黄、赤などの五色で菊やボタンの花が美しく描かれ、幻想的な絵ローソクが出来上がっていく。現在、ローソクに絵を描く人は高畑さんただ一人になってしまった。

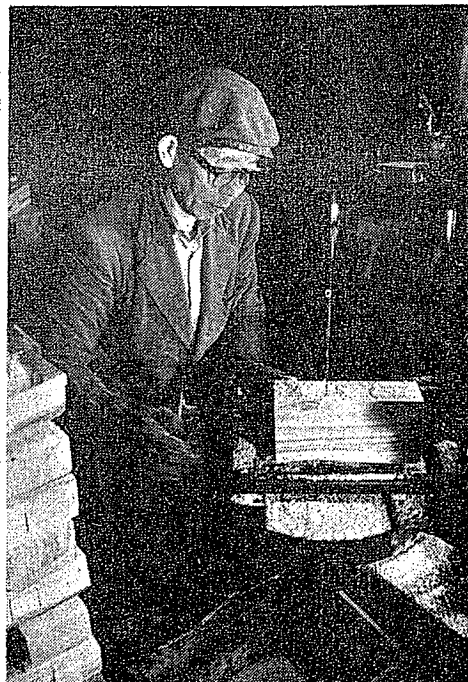


△会津清酒の名声は全国に広がり今や東北では、秋田に次ぐ生産高をあげている。市内酒造業の杜氏である小林二三郎さん（63歳）は、仕込みにはなくてはならない存在だ。朝の6時まだ夜の明けきらないうちから、いせいの良いかけ声とともに仕込みがはじまる。

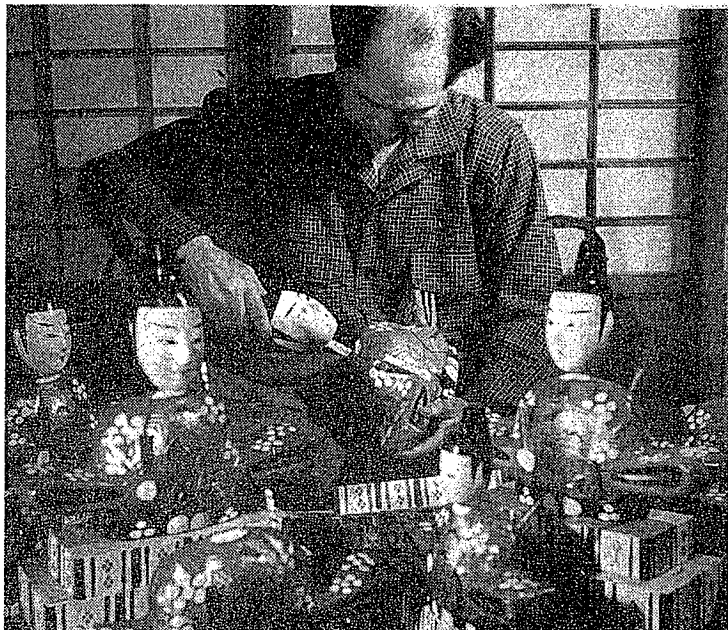
△明治時代まで、農家であれば必ず見られたのはた織り風景。しかし、今ではほとんど見られないが、柳津町石生の田崎ハツノさん（七十歳）は、今でも元氣にはた織りを続けている。主に帯を織っているが、けっこうあちこちから注文があり忙しいという。長い間受け継いできた伝統は根強く今も生きています。



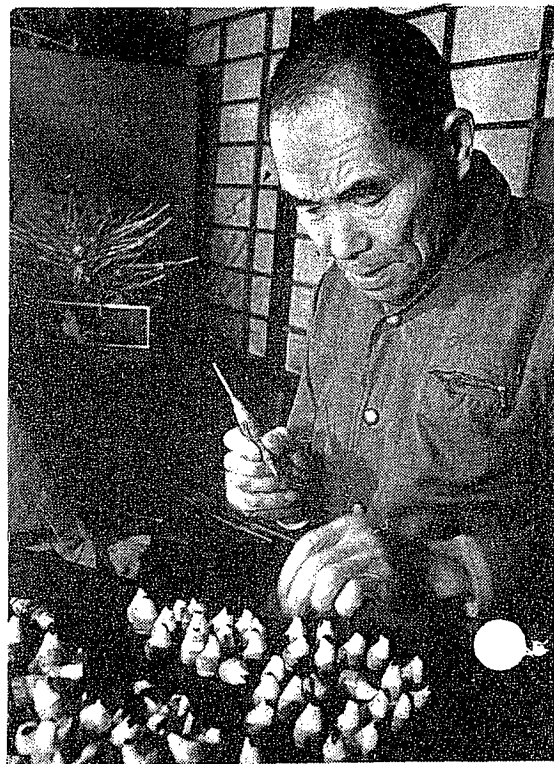
▷品質の良さを全国一を誇っている会津桐。琴、家具、下駄など現代社会にたくましく生き続けている。材木町長谷川桐材店に勤める斎藤安之助さん（五十八歳）は、数十年桐と共に明け暮れてきた。今日もまた桐の臭いの中で作業がつづく。



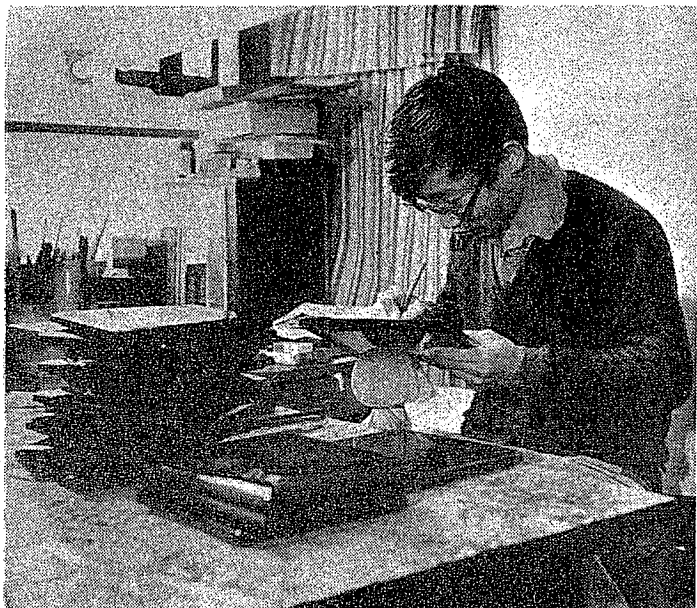




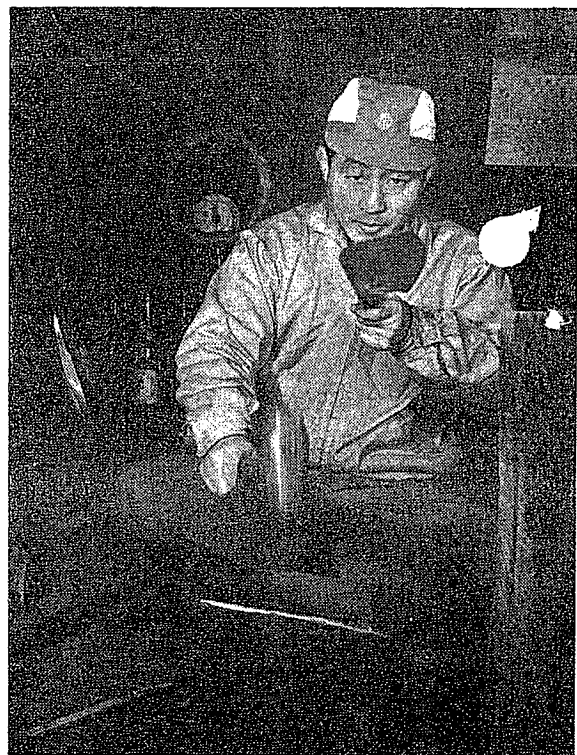
△学問ができませんようにとまつられる会津天神。市内駅前町五十嵐新一さん(六十二歳)は、長年天神づくりにはげんできた。鼻筋がとおり爪裏顔で気品がただよう天神とは菅原道真公のことである。会津の民芸品の中でもすばらしいものに数えられている。



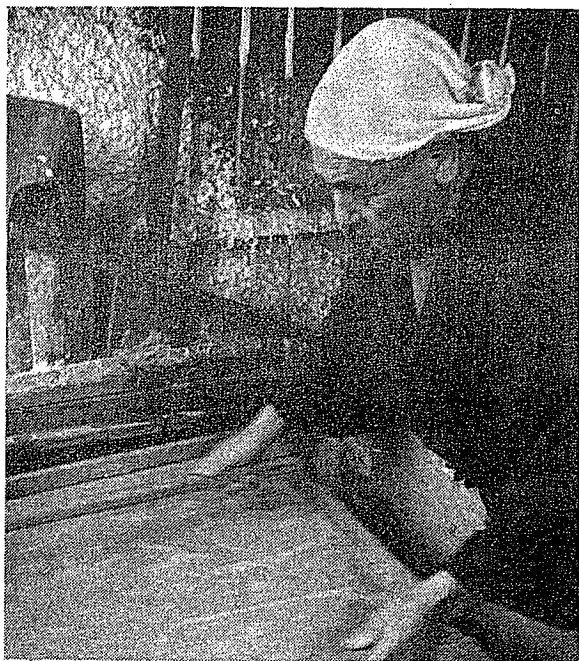
△正月の縁起物で有名な起き上がり小法師——これをつくって47年、七日町山田七郎さん(67歳)。正月前は目のまわる忙しさだ。起き上がり小法師は、七転び八起きといつて長い人生航路に忍耐強く、いつも元気で働けるよう家内安全を祈りながら神棚に飾られる。



△沈金彫師の角田弘司さん(三十七歳)。いろいろなノミを使いわけて一彫一彫力強くほって行く。技術の確かさは、日展連続十一回入選で実証済みだ。「伝統の技法を生かしながら現代の工芸を作り上げていきたい」と話す角田さん。今後の活躍が大いに期待される。



△市内相生町小島信雄さん(40歳)は、中屋忠左衛門本店の4代目。山林のこぎり、大工のこぎりづくりに20年間がんばってきた。のこぎりづくりはなんといっても焼き入れて良悪が決まる。機械に頼るよりも、熟練した技術で勝負する産業だけに、今後もたくましく発展することが期待される。



△一年中で最も寒さがきびしい寒中に行なわれる和紙づくり。寒さがきびしくないと、光沢のある強い和紙はつくれないという。柳津町通称野老沢(ところざわ)の長谷川文一さん(六十歳)は、和紙づくり四十年のベテランである。原料は楮(こうぞ)の木の皮である。漉(す)き槽(ぶね)から丈夫で気品のある紙が一枚一枚いいねにつくられていく。

### 新入学の健康診断

昭和45年4月に新しく小学校に入学されるお子さんの健康診断を次の日程で行ないます。保護者付き添いのうえでおいでください。

なお、通知もれや、不明の点がありましたら市教育委員会保健体育課へご連絡ください。

▷対象 昭和38年4月2日から昭和39年4月1日までに生まれたもの。

#### 新入学児童健康診断日程

月日	曜日	実施地区	実施場所	受付時間(午後)
1月20日	火	指地区	神指小	1.20~1.30
1月21日	水	仁地区	仁城小	0.00~0.30
1月22日	木	城地区	行城小	0.00~0.30
1月23日	金	教地区	護教小	0.30~1.00
1月26日	月	城北地区	護城北小	0.30~1.00
1月28日	水	日新地区	日新小	0.30~1.00
1月30日	金	城西地区	城西小	0.30~1.00

月曜から土曜までの毎日 一般・学生閲覧室は午前九時から午後六時まで、児童室は、午前九時から午後四時三十分までそれぞれ開館します。休館は日曜・祭日です。お勤めの帰り、お買物のついでにどうぞご利用ください。

個人で、本をご利用したいときは、身分証明書や米穀通帳などをもっていき、館外帯出証を受けとりまします。一回一冊、十日間借りられます。遠いとか、都合

### 会津図書館のご利用を

午後六時まで開館



でお出かけが容易でない方は、責任者をきめて貸出文庫をご利用できます。一回二十冊程度、一カ月間借りてお読みになれます。

ご成人おめでとー！  
式は十五日午前十時  
晴れの成人式が一月十五日午前十時から十一時まで市民会館で行なわれます。入場受付時間は午前九時二十分からです。

①下駄ばきはご遠慮ください。なお、次の点に注意しましょう。

い。②同じ年令の方が多数参列されますので、とくに目立つはでな服装はさけてください。

ジフテリア・百日せき  
破傷風の混合予防  
第二回目の接種です。

▽該当者①生後三カ月から六カ月前までの人②生後三カ月から今までの一回もこの接種をうけたことのない

#### 三種混合予防接種日程

第2回 接種日	時間(午後)	場所
1月12日	1.30~2.30	町北分館
"	2.00~3.00	高野"
1月13日	1.30~2.30	一箕"
"	2.00~3.00	東山"
1月14日	1.30~2.30	神指"
"	2.00~3.00	門田院丁
1月16日	1.30~2.30	星医小(大野田)
"	"	吉田"
1月17日	"	林谷"
"	"	加藤(川原町)
1月19日	"	浜崎"
"	"	"

#### 税務署から

### 納税証明・源泉還付の申請・申告のおしらせ

所得税の確定申告の時期が近づいてまいりました。会津若松税務署では申告期間の二月十六日から三月十六日までは、混雑しますので、つぎのことについてみなさんの協力をよびかけています。

時間お持ち願ったり、翌日交付の場合も予想されますので、二月十五日までに申請されるか、または四月以降に申請されるようお願いいたします。

▽所得税の源泉還付申告書について  
還付を受けるための申告書は、一月一日以降提出できません。該当される方(外

▽国税の納税証明申請について  
繁忙期になりますと、長

役員、報酬、給与、配当、年金所得者など)は、一月末日頃までに提出されるようお願いいたします。二月十六日から三月末日までは繁忙になり、提出されても還付が遅れることがあります。

▽応募資格 市内子ども会員  
▽規格 半紙判  
課題 小学校一年「はる」二年「ゆめ」三年「小犬」四年「日光」五年「万国」六年「初光」中学校一年「年賀」二年「出発」三年「徳育」▽締切日 一月九日  
▽展示会期日 一月十四・十五・十六日の三日間  
▽会場 市民館三階

#### 恒例十日市

一部実施区域が変更になります。積雪、車輛激増により、国道四十九号線、百二十一号線(大町、七日町通り)での開催は不相当です。神明通りを中心に実施します。

#### アセチレン溶接士試験

▽試験日 昭和四十五年一月二十七日(火)午前九時から  
▽場所 会津専修職業訓練校(耶麻郡塩川町)  
▽申込締切 昭和四十五年一月二十二日(月)  
受験についてのくわしいことは、会津労働基準監督署にお問い合わせください。

#### 身体障害者福祉会 新年名刺交換会

▷日時 1月18日午前10時から  
▷会場 東山温泉丸井荘  
▷会費 500円

身体障害者手帳所持者は多数ご参加ください。お申し込みは1月12日まで各役員または、福祉事務所内、身障福祉会へ。

#### 「家庭の日」の作文・図画を募集

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。ことしもみんなそろって明るい家庭をつくりましょう。また、「家庭の日」の作文、図画を募集しています。▷主題 「家庭の日」家族みんなが話しあい、協力しあい、楽しみあっている家庭をとりあげたもの ▷募集対象 県内の小・中・高校の児童生徒▷締切日 昭和45年1月20日(火)▷送付先 福島県民室(福島市杉妻町2-16)▷作文は400字詰原稿用紙小学校児童は3枚以内、中・高校生は5枚以内に1人1編▷図画は、B判4切画用紙に1人1編